

中根小の自然

第4号 2008年6月27日

< クリの実はどんなふうにしてできる？ >



中根小東側の門から見えるクリの木 2008/6/19

クリ（ブナ科）*Castanea crenata*

中根小農園や通学路のクリの木が、たくさんの白い花穂をつけていましたが、もうさかりを過ぎて茶色になってきました。

皆さんの中には、ウメの花が終わるとウメの実が、カキの花が終わるとカキの実がふくらんで大きくなっていくことを知っている人もいるでしょう。

では、クリの花が終わると、いったい



クリの花 2008/6/10 つくば市

どのようにして、あのトゲトゲの”イガ”でおおわれたクリの実ができるのでしょうか？ はじめからちいさなトゲトゲの赤ちゃんがあるのでしょうか？ それとも…？

この白いのがクリの花です。 なんだか動物のしっぽみたいですね。 みんながよく知っているタンポポや、サクラなどの花とはずいぶんとようすが違いますね。

もう少し拡大して観察してみましょう。

白く細い毛のようなものをたくさん出して、穂のようになっている左側のがオスの花の集まりで、この細い一本一本が雄しべです。

そして右側の白イトゲのようなものを広げているのがメスの花の集まりで、写真のわくからははずれていますがその先のほうには、やはりオスの花の集まりが穂のようについています。この白イトゲのようなのが雌しべですが、これがイガになるわけではありません。



オスの花の集まり(左)とメスの花の集まり(右) 2007/6/14つくば市

では、この花がどのように変化していったって、イガにおおわれたクリの実ができるのでしょうか？ 答はあなた自身が観察して見つけてみましょう。



クリの熟した果実 1986/9/20 つくば市



クリの花の花粉は、ハナアブや甲虫などが運ぶ

2008/6/10 つくば市